



◁在宅訪問教育の合同学習会



今井本町  
野辺誠一さん

### 本当の幸せって

今井677-1-5に住む野辺誠一さん(58歳)の二男、美行さん(25歳)も重度心身障害者の1人です。

美行さんは、自宅で両親と家族に面倒をみてもらっている在宅障害者。

ふだんはお母さんがつきっきりで食事や排便など、身のまわりのことをいっさいみていますが、お母さんが病気になったときなどは、誠一さんが仕事を休んで面倒をみています。また、どうしても夫婦で出席しなければならない冠婚葬祭の時などは、姉の修代さんが学校を休んで面倒をみたこともあったそうです。

野辺さん宅では、10数年前に一度美行さんを施設に入所させましたが、やはり家庭で面倒をみるのが、子どもにとって一番幸せなのではないか——ということで、すぐに連れ帰ったそうです。

重度の心身障害者をもつ親にとって、子どもから目を離すことはいっときも許されないのです——とその苦労を野辺さんは話します。野辺さん一家は現在まで、家族で一度も旅行などへ出かけたことがないとのことでした。

病気になった。冠婚葬祭がある—このような時、心身障害児(者)のいる家庭では、大変困ります。市が、今年から始めた心身障害児者短期保護事業は、このような悩みを解決しようとするものです。

### 社会的に弱い立場の人が

心身障害児(者)を持つ家庭にとってその苦労は大変なもの。市が昭和54年4月に行った、心身障害児(者)の調査によると、市内には、なんらかのかたちで心身に障害をもつ人が、671人います。

このうち、家庭にいる在宅障害児(者)は約62人にあたる416人、福祉施設に入っている障害児(者)は38人の255人でした。

障害者の比率を種別でみると、精神薄弱84%、肢体不自由3%、重度の心身障害10%、自閉症・その他3%となっています。

# 介護者にも安心を

## 心身障害児(者)を預る短期保護事業



### 防犯灯を設置してほしい

(お願いします) 私は女子高校生です。冬になると補習とか、部活で遅くなる事が多くなります。

暗い道路をひとり歩いて帰るのは怖いです。

厚原にはまだまだ暗い所がたくさんあります。ぜひ防犯灯を設置してほしいと思います。(厚原一さん)

(おこたえします) 防犯灯の設置については、各町内会(区)長さんと相談をしながら設置をすすめ、これまで全市にあわせて一万二百五十灯設置してあります。しかし、まだ百パーセントの暗がり解消までに至らず、引続き設置しなければなりません。

すでに今年度分も町内会(区)長さんからの設置申請を尊重し、特に通学路等は重点的に配慮しながら発注しました。

日の短くなる九月末日までには設置完了の予定です。

あなたのお宅の厚原地区にも相当数の防犯灯を設置してありますが、今後ますますその周辺には住宅が増えることが予測されますので、引続き十分配慮していきます。(市総務課)